

第90回藤野地区まちづくり会議（全体会）開催結果

- 日 時 令和5年5月25日（木） 19:00～20:40
- 場 所 藤野総合事務所4階会議室
- 出席委員数 21名出席（5名欠席）
- 傍聴者 0名

- 1 開 会 加藤副代表
- 2 あいさつ 宮野代表
- 3 新任委員の紹介（落合委員、吉田委員、梶原委員、山口委員、佐藤委員）
- 4 区長あいさつ
- 5 議 題

（1）各部会における前年度の活動報告

ア 環境部会

星部会長から次のとおり報告された。

昨年度は、第1回部会で取組案として提案された「不法投棄、鳥獣やヤマビル対策、交通が不便、観光トイレの不足、子ども達が遊ぶ場所の整備、ナラ枯れ、通行支障木」などが挙がり、「通行支障木の対応」について検討していくこととした。

通行支障木は、車通りが比較的多い場所で、「歩道や道路にまで枝木が伸びていて、避けて通らざるを得ない所、枝木が折れた場合に道路へ落ちる可能性がある所、標識に枝木がかかり見えなくなっている所、カーブの先が枝木で見えづらくなっている所」に限定し、部会メンバーからの情報提供及び部会長、事務局が藤野内を調査して、18カ所の通行支障木を確認した。

通行支障木の対応として、地域ができること、市ができることを整理するため、相模原市役所の路政課、津久井土木事務所藤野班、藤野地区安全・安心まちづくり推進協議会藤野支部を交えた意見交換を実施した。

市からは、「通行支障木の対応は、基本は市で行うが、地域からの情報提供や協働をお願いしたい。」とのことだった。

また、調査した18カ所は市に情報提供し、対応が終わり次第報告をもらうこととしている。

イ 藤野未来部会

渡辺書記から次のとおり報告された

昨年度は、第1回部会で各団体が抱えている課題について意見交換し、「子どもの居場所、自治会員や消防団員の不足、シニア世代と子育て世代のコミュニケーションや

情報伝達方法」などの課題が挙げられた。

これらの課題をもとにした取組として、「各団体の情報・意見交換、高齢者・子どもに関する課題、各団体の継続性、情報共有」について検討することとした。

具体的な取組としては、シニア活動団体、子ども関係団体をそれぞれ別々の開催日に出席していただき、団体の活動内容や抱えている課題などを共有した。

課題としてはどちらの団体からも「人手不足」が挙げられたため、今後も部会を通して団体同士の交流を図り課題解決に向けて取り組むこととした。

(2) 令和5年度藤野地区地域活性化事業交付金について

はじめに、地域活性化事業交付金について、事務局から評価方法等について説明を行った。

また、地域活性化事業交付金申請予定の5団体から事業説明を受け、各事業に対して意見等が伝えられた。

「・」まちづくり会議からの意見、質問 「⇒」 団体回答

ア 団体名：リレートークの会

事業名：リレートークの会

<まちづくり会議からの意見等>

・歴史や文化を後世に残していくことは良い取組だと思う。今後も継続してほしい。

イ 団体名：しのばら園芸市

事業名：しのばら園芸市実行委員会

<まちづくり会議からの意見等>

・次年度の収支の予定はどうか。

⇒事業で得た収入は会場整備に回したいと考えている。

ウ 団体名：赤沢環境整備プロジェクト

事業名：上野久保の杜を守る会

<まちづくり会議からの意見等>

・特になし

エ 団体名：フリーペーパー「里山ヘッズ」の発行

事業名：山シビレ研究所

<まちづくり会議からの意見等>

・里山ヘッズは、テーマを変えて発行していくということでよいか。

⇒テーマに関するほか、食の情報は大事であり、イベント情報の掲載も考えている。

・イベントの情報はどのように得ているのか。

⇒取材先や観光協会の情報等になるが、イベントはあらかじめ日程が決まっているものも少なく、課題でもある。

・里山ヘッズ0号は、飲食店の紹介のように見えたため、藤野の魅力を発信できるようになってほしい。

- オ 団体名：藤野・なぐらてくてく周遊事業
事業名：藤野園芸ランド（団体の都合により、事務局から説明を行った）
＜まちづくり会議からの意見等＞
・特になし

(3) 令和5年度菅井地区乗合タクシー利用促進協議会委員の選出について

菅井地区乗合タクシーの経路周辺に住んでいる委員の出席がなかったため、牧野地域の委員に事務局から打診することとなった。

4 その他

(1) 委員から地域活性化事業交付金事務に関する質問

ア 現在までに地域活性化事業交付金を活用した団体数とその中で継続団体と解散団体はいくつか。

⇒ 活動団体が多数あり、現状の様子まで確認するには時間を要するため、把握した際に回答する。

イ 交付金の監査はどのように行っているのか。

⇒ 年度毎で活動が終了次第、実績報告書と領収書等の提出を受け、適正に執行されているかを確認している。

また、活動日には活動場所に行き、状況を確認している。

ウ 地域活性化事業交付金の3年度間の交付終了後も援助を必要としている団体においては、継続して補助金等を交付できるような検討をしてみてもどうか。

最初の3年度間は団体活動の準備期間だと考える。

⇒ご意見については、所管課に共有させていただく。

(2) 次回の日程について（事務局）

ア 藤野未来部会：6月12日

イ 環境部会：6月15日

ウ 全体会：7月20日

6 閉 会 小山副代表

以 上